

国労東北自動車支部

発 責
北山修司
編 責
教 宣 部
NO,117
2017.6.9

国労加入
で職場を
変えよう

夏季手当交渉開催

会社「大きな収入減で厳しい状況」

組合「JRバス30年に相応しい回答を」

6月1日(木)組合側趣旨説明、8日(木)会社側趣旨説明と2回にわた
り「2017年度夏季手当についての申し入れ」仙地申第27号の交渉
を行いました。

年間所得額が全産業平均を下回り、離職率の高い現状を改善するた
めにも生活給である夏季手当に会社は誠意ある回答を示すべきです。

組合・内部留保はすでに65億円を超
えている。先行投資という意味も
含め社員の労苦に報いる回答をお
願いたしたい。我々の要求とはかけ
離れていたが、3年ぶりにベアが
実施されそれなりのインパクトは
あった。昨年の回答2.45ヶ月
プラス加算額8万円をベースにし
ても支払える要求だ。

現在、大型二種免許取得者は約
90万人でその8割は50代となっ
ている中、若い人に魅力あるもの
にしなければならぬ。夏季手当
といえ生活給で、ローンを組んで
いる者も多くいる。

今回、期間率の適用について、
私傷病での「病欠」は、除外ないし
緩和処置を図ることを新たに要求
に入れた。長期に休んだ場合、期
間率で減額にされ、定期昇給にも
影響となれば二重になり重過ぎる

のではないか。病欠の一要因の中
には、会社の精神的ストレスなど
も考えられるので考慮されたい。

会社・要求の成績率適用で、減額に
ついては10/100で増額は1
5/100ではないのか。

組合・10/100だ。成績率が導
入されたとき恣意的な部分があり
不公平感があつた。成績率は小さ
いほうが良いと考える。

会社・今回、ベアが実施され基礎部
分はすでに上がっている。

お知らせ

6月1日付で古川営業所に
勤務していた畠山浩幸さん
が2年ぶりに地元・二戸営
業所に転勤になりました。
これまで3回の転勤で苦勞
されてきましたが延長され
ることなくきっちり2年で
帰ることができました。
今後も頑張っていこう！

また、昨年まで加算額プラスで上
げていることも理解して頂いてい
ると思う。27年度決算の営業利益
は5億8千700万円だったが
28年度について間もなく明らか
になるが3千万円ぐらいおちる。
4億円は切る厳しい状況だ。代行
がなくなり大きな収入源を失くし
た。ご理解を願いたい。

組合・おちるといっても当初の計画
の中で織り込み済みはず。代行
を除外すれば厳しいバス業界の
中、計画は対前年比100%超え
ている。現場の協力がなければ達
成できない。地場のバス会社にお
いて新卒者の賃金が高いところ
もある。勤務の勉強会でも超勤が
減っていくことを考えれば手当
に対する期待は高い。我々の要求
はベースの人件費より7000
万円程度増えるだけだ。

会社・他に使うものがなく、人件費
だけに注ぐのであれば良いかも
しれないがそういうわけにはい
かない。常に故障の起きるような
バスを運用していたのでは、利用
者は逃げてしまう。安全・安定輸
送があつてこそ選ばれる。そうい
ったところにも投資しなくては
ならない。

(以上)